飛騨通信

令和６年１月発行
第 211 号（通算 876 号）

岐阜県立飛騨高山高等学校
通信制課程
〒506－0052
岐阜県高山市下岡本町2000番地30
TEL&FAX（0577)32-6013

本気の本気

副校長 小田 雅人

みなさんは、これまでの人生の中で“本気の本気”で何かに挑戦したことがあるでしょうか。

私は、大学時代にある競技に取り組んでいました。当時、私はその競技に人一倍打ち込んでいたという自信はありますが、最初から本気の本気だったかと言われるとそこまでではなかったと思います。大学2年の時、その競技の全国大会で20 番台に入り、少し自信が付き、来年は強い 4 年生が卒業するなんて計算もして、次の年は一桁の順位に入れるだろうとなんとなく予想していました。しかし、結果は 20 番台で、ほとんど順位を上げることができず、そのシーズンを終えました。そして、4 年生になり、ゼミの教授に思うような成績が残せなかった結果を報告しました。教授から「それで、来シーズンは、何位を目指すのか？」と言われ、成績が伸びなかった悔しさもあり、思い切って「優勝です」と答えました。教授は「小田、勝負事は勝たなきゃいけない、勝てばおまえの努力を誰もが認めてくれる。近くにいる人はあなたの努力を知っているが、勝てば、遠くの両親やお爺ちゃん、お婆ちゃんも喜んでくれるぞ。負けて、『よくやったよ』とお互いを慰めても勝てるようになるわけではない。勝つために本気の本気でトレーニングはもちろんのこと、勝負に拘って生活しなさい」と指導を受けました。それから大会までの期間、私はトレーニング量や内容を見直し、日々勝負に拘った生活をするようにしました。例えば、人でごった返す渋谷のスクランブル交差点で横断歩道の信号が青になった瞬間、誰よりも早く渡りきったり、友人などとなんらかの目的で行うジャンケンも絶対に勝つことを意識したり、日常生活の中でちょっとした勝負に関わる場面では、いつも勝つことを意識して約一年間生活しました。そして迎えた大会本番、結果は優勝することができました。大会中、どんな場面においても不安や緊張を感じることがなく、むしろ全く負ける気がしない精神状態でした。その後、優勝したことを教授に報告し、とても喜んでいただきました。また、大会結果が専門誌に掲載されたこともあり、遠くの両親や友達もとても喜んでいました。この時、勝負事は勝たないといけないという意味や本気の本気で取り組むことの大切さを実感することができました。

教師になり数年が経ち、転勤先の高校でこれまで経験したことのないソフトテニス部の顧問になりました。5月、監督として初めて迎えたインターハイ予選大会は、惨敗という結果でした。負けて悔しい表情をしている生徒、大きな声を出して元気よく戦って勝ち上がっていく生徒や顧問、そんな姿をみていると大学時代のあの時のことがよみがえり、「よし、3年以内にインターハイに行ってやろう」と心に火が付きました。それからはなりふり構わず、県外の強豪校へ連絡し、練習試合や練習の依頼をして、週末はほとんど遠征に出ました。平日は、強豪校の先生から教わった練習メニューをとことんやりました。勝負の3年目、インターハイ出場を決める試合に負け、悔しい思いをしましたが、4年目にようやくインターハイ出場することができました。インターハイ本番、1回戦をなんとか突破して、生徒と私がコートの外へ出ていくとそこにその生徒のお母さんが走ってきて、息子とハイタッチを交わしました。その生徒は、後から「母さんとハイタッチしたこと初めてかもしれない、あんな母さんを見るのが初めて。」と言っていました。私は涙をこらえながら「勝たすことができて良かったなぁ」としみじみ思いました。

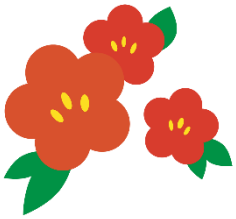
みなさんも本気の本気で何かに挑戦してみてはどうでしょうか。きっと多くの人を喜ばせることができたり、これまでに経験したことがないようなことに遭遇したりと人生観が変わり、人生がより実りあるものになるでしょう。ちなみにこの話は、私の成功例ですが、本気の本気で挑戦したけど、途中で諦めてしまったこともあります。だから常に本気の本気モードを勧めているわけではなく、人生で一度だけで十分なのです。

令和６年１月１４日　　飛　驒　通　信

新年の抱負

私は去年、慣れないことばかりだったのと、スケジュール管理が甘かったのとで、趣味や挑戦に割く時間がありませんでした。

来年は計画的に学習に取り組んだ上で、今年充分にできなかった絵の練習や漫画を描く経験を積む、などの趣味方面にも力を入れていきたいです。



今年は勉強とアルバイトを両立させて、頑張りました。来年も頑張ろうと思います。

これから寒くなってきて、ただでさえよく寝るのに、余計布団から出られなくなるので、時間を決めて、規則正しく生活しようと思います。

僕の来年度の抱負は、アルバイトを続けることです。今年初めてアルバイトを経験し、まだやったことのないことに挑戦できたことで、自信を得ることができました。これからも継続していきたいと思います。

私は、今年やりたいことが二つあります。一つは、車の免許を取り、美術館やスケッチに車で出掛けることです。もう一つは、趣味の版画の腕をさらに磨くことです。今は独学で版画を学んでいますが、たいした量はできていません。作成する版画の量を増やし、学校や高山市に版画で貢献できるようになりたいと思います。

新年の抱負は「今の自分を変える」ことです。去年は嫌なことから逃げてしまったり、なかなか新しいことにチャレンジできなかったので、今年は、嫌なことから逃げてしまう自分を変えるという意味を込めて「今の自分を変える」という抱負にしました。

僕の新年の抱負は、お金の管理と家事について学ぶことです。18歳になって、成人という扱いを受けたり、今後一人暮らしをしていくかもしれないので、その時になって困らないように今のうちから学んでおきたいです。現状、税のことに詳しくなかったり、掃除が苦手なので、まずはそれを課題として頑張っていきたいと思います。

新年の目標は進学先への準備をすることです。今まで過ごしてきた生活とは違うものになっていくので、その準備をしていきます。

例えば、新生活に必要な学習や道具などを準備して焦らないようにし、心に余裕を持ちたいです。

また、自分にできることを無理のない範囲で手伝いたいです。これから雪もすごく降るので今のうちに家族に貢献したいです。

私の新年の抱負は、しっかりと卒業しきることです。4年生も残りあと少しです。残り少しのスクーリングにしっかりと出席して、レポートも最後まで取り組み、最後のテストに向けて頑張っていきたいです。そして、今年こそは卒業できるように頑張っていきたいです。高校をしっかり卒業できて良かったと思えるように頑張ります。

東海４県交歓会

「松阪もめんの小物」「松阪食材のランチ」　「分科会の司会」

10月22日(日)東海4県の通信制高校が3年ぶりに直接対面し、お互いの学校の様子について話しました。

【学校行事】
第Ⅲ分科会で司会担当だったので、質問の原稿を用意しました。活発な意見交換をするには、質問にも工夫が必要だということを学ぶことができました。

【全体会】
松阪高校独自のおもてなしとして、松阪の食材を使ったランチプレートや松阪もめんで作る小物などがあり、参加した生徒も大変喜んでいました。

命の大切さ講話

10月29日（日）、飛騨市民病院で勤務されている看護師の星合紀美子さんをお招きし、「命の大切さ」について講話をしていただきました。患者さんの緩和ケアに携わった際の話や、自分にむける思いやりの大切さについて話を聞き、「自分らしく生きる」とはどういうことなのかを考えるきっかけになりました。また、自分の好きな事をしたり普段から周りの人と思っていることを共有したりすることの大切さについても、改めて考えるきっかけとなりました。今生きていることを大切にして、自分らしい人生にしていきたいですね。

職員室より

瀬川　敦子

家庭の都合で、7年前まで大阪の八尾市に住んでいました。「大阪」と聞いただけで個人的に「怖い街」というイメージが最初はありました。

息子を初めて幼稚園に連れて行った道中で見知らぬ他のお母さんに「おはようさん」と声をかけられてびっくりしたことを覚えています。しかし、知らない人でも言葉一つでこんなに心が晴れやかになるんだと、この時初めて知りました。それから私は大阪という街が大好きになりました。

誰とでも気軽に声を掛け合う、そんな関係を作れたらと常日頃思っています。

島ノ上　修

私は小学生の頃からずっと漫画が大好きで、ドラゴンボールやスラムダンクといった作品は、セリフを覚えてしまう位、何回も何回も読み返しました。キャラクターが成長していく漫画が好きで、主人公が失敗したり悩んだりしながら、それでも前を向いて地道に自分を磨いて誰にも負けない力をつけるといったストーリーには、本当に心が動かされます。現実では漫画のようにぐんぐん成長していくことはなかなか難しいのですが、そんな漫画に励まされ「よし、また頑張ろう!」と思っています。

駒田　武彦

皆さんは、『自立するとはどんな意味ですか。』と尋ねられたらどう答えますか。辞書的に言えば【他の助けや支配なしに自分一人の力だけで物事を行うこと。】となりますが、実際にはいつもいろいろな人と相談し、助けてもらいながら生活をしています。ですので、【困ったときに解決できる方法（知っている人）をできるだけたくさん見つけて、必要に応じて相談し、解決しながら生活すること。】が本当の自立だと思っています。皆さんも悩みを一人で抱えず、困ったことがあったら助けを求められる人になってほしいと思います。

坪田　彩

「あ、これ自分のやりたい事かも」と気づいた瞬間ってありますか？ 私は、自分の「好きな事」はたくさん知っていましたが、「やりたい事」に気が付くのは遅く、趣味で絵や漫画を描いていました。ある時「もっと描く時間が欲しい」と気が付いて、動画の解説を見ながら勉強し、現在は企業から仕事を受けています。今は、ネットで貴重な情報が簡単に手に入るので、一足飛びに成長できます。自分次第で挑戦し放題です。「すぐにやる」って大事です。さて、この文を読み終えたら、やりたい事に今すぐ手を伸ばしてください。

学習カレンダー

ＳＴ＝定期テスト
３修Ｔ＝３修生定期テスト
追再Ｔ＝追テスト、再テスト、特別テストが前日までの予約なしで受けられる日
網掛けは学校休業日（電話応対できません）

日	曜	１月行事予定
14	日	ST㉕ LHR（生徒会長選挙）
15	月	
16	火	通級による指導（自）⑨
17	水	
18	木	3修T⑮ 後半締切
19	金	休業日(1/14分)
20	土	休業日
21	日	前半･3修科目追再T
22	月	休業日
23	火	
24	水	
25	木	
26	金	
27	土	休業日
28	日	ST㉖ 礼法指導 LHR（科目登録）
29	月	
30	火	通級による指導（自）⑩
31	水	

要確認！

日	曜	２月行事予定
1	木	
2	金	特別テストレポート最終合格期限　（16:30）
3	土	休業日
4	日	後半科目追再T
5	月	休業日
6	火	休業日（1/28分）
7	水	
8	木	
9	金	第3回学習期限（15:25）
10	土	休業日
11	日	建国記念の日
12	月	振替休日